Real

革新の技術は、
迫真のビジュアルコミュニケーションのために。



20拠点接続を標準装備。9拠点を同時表示。

映像コーデック標準規格 H.264/SVC の採用により、多拠点接続を標準装備化。従来のテレビ会議システムには不可欠だった MCU（多拠点接続装置）が不要となるため、大幅なコスト削減が可能になります。また最大 9 拠点を同時表示。発話者をクローズアップして表示するなど、さまざまな画面表示を実現しています。

■ 9 拠点同時表示（均等表示）



※写真はイメージです。

■ 9 拠点を均等な大きさで表示



■発話者を自動的に大きく表示



■相手画面内の右下に自分を表示



■パソコン画面共有時の表示



高画質＆94度の広視野角。

リコーが長年培ってきた光学技術により、130 万画素の高解像度と 94 度の広視野角を実現（一般的なテレビ会議システムは 65 度～70 度）。実際に対面しているかのような臨場感あふれるビジュアルコミュニケーションを可能にします。





※写真はイメージです。

映像が安定して、途切れにくい。リアルタイム通信を実現。

多くのテレビ会議システムで利用される映像コーデック規格 H.263 や H.264/AVC は、接続開始時にネットワーク帯域を固定されると、以降そのネットワーク帯域のもとでデータをやり取りします。そのため、トラフィック負荷が増えた場合、固定された帯域を確保できず、映像の乱れやフリーズを起してしまいます。そうした課題を解決するために、P3000 は新しい映像コーデック標準規格 H.264/SVC を採用。常にネットワーク帯域をチェックし、トラフィック負荷が増えた場合は、解像度やフレームレート、圧縮率を自動的に最適制御。映像の乱れや途切れを極力抑制し、高品位かつリアルタイムのビジュアルコミュニケーションをサポートします。